第 2014-38 号

恵みと真理のニュース

2014 年 9 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

真実な神様に祈り、神様だけ望んで 神様の能力を与えられる体験をさせてくださいました

以前村にある教会に通うときでした。自分なりに熱心に教会を通いましたが、教会でから帰って来るといつも心が空しくて御言葉の恵みを求めました。そうするうちに新婚の時に少し通った教会が思い出しました。当時には初信者で少し通いましたが愛と恵みが満たされた教会が楽しい信仰生活したので懐かしかったです。恵みと真理教会のうわさを聞いていたから自らわたしたちの教会に通い始めました。
奉仕する所ことに聖霊の働きで生き生きし一人一人教会と聖徒を仕える表情でも主の愛を感じました。何よりも礼拝を捧げると御言葉と聖霊に満たされる恵みを受け日々主の中で喜び持って信仰生活をするようになりました。
　神様の恵みで長女が産まれました。どころが、娘が 2 歳の時に急に病気を患いました。村にある病院を捜しながら治療を受けましたが治らなかったです。娘は水も飲めなくて乳も一口も飲めなかったです。一週間過ぎると本当に痩せてしまいました。結局大きい病院を捜して行ったた医師は娘に脱水症状なのですぐ入院しなければならないとしました。入院をしたにも関わらず病状に変わりがなかったです。切羽詰った私は病室で膝をまずき神様に祈りました。この前信仰生活がおろそかになて“教会は次の週に行ってもよい。”として教会に行く道を変えて他の事をしようとする時に道で倒れて大きい怪我をしたことを思い出して悔い改め祈りをしました。許しを求めてから“娘が今日の夜にはおかゆを飲めるようにしてくださり明日は治って退院してくださいと死ぬまで主日礼拝、平日礼拝、金曜礼拝、区域礼拝を休まずに捧げ礼拝中心の生活に住むと決心して約束しました。その時から約束の祈りについて全く知らないのに切に祈りました。真に驚くように神様の恵みが望みました。痛んで泣いた子供が全然泣かなくて健康を回復したのです。次の日に病院でも本当に珍しい事ですが子供が治ったので退院してくださいと言われました。全能なる医師になさる主は私と娘を哀れんでくださり娘の病気をきれいに治してくださったのです。生きていらっしゃる神様、ラパの神様に感謝を捧げ、私がもっと真実な信仰で神様を仕えるきかけになりました。
祈りだけでなく神様に献金を捧げることを通しても大きい恵みを体験しました。救いの確信を持った後、十一献金を神様に捧げ始めました。最初は余裕がなくても十一献金を捧げましたがある日にはあまりにも生活が大変で十一献金を減らしました。
その日に珍しい夢をみました。米に虫がいるか確認するため米のかめから一握り手で掴んで見たら嫌な虫がたくさんいてびっくりしてすぐ虫が混ぜていたお米は捨てました。起きて次の礼拝に捧げようとした十一献金を少し減らした事が気にかかりました。すぐ神様に悔い改め祈りをしました。そして、また同じ経験をしたことがあります。その後からは経済的に大変でも心を持って神様に捧げるようにしました。足りなくても心を尽くして捧げる神様は嬉しく受け祝福を与える事を信じました。十一献金と一千教会設立献金を捧げる事にも心を尽くしました。苦難の中でも熱心に神様に捧げる神霊な喜びを享受しながら生きました。
豊かではないですが熱心に仕え献身する生活をすると神様は私の家庭に様々な恵みを与えてくださいました。神様は時によって助ける恵みを与えて下さりの娘が大学まで勉強をして自分が願った大企業に就職をしました。だんなは酒好きで世が好きだったので無駄使いがひどいでした。それで私が経済的な問題で心の苦労しました。しかし、教会に行って礼拝を捧げ当会長牧師の説教を聴くと慰めになり旦那を哀れんで足りない中でも節約して生活するように神様が助けてくださいました。
今までの事を振り替えてみると今日の私と家族を考えると全てが神様の恵みであり神様の奇跡でしたと告白しなければなりません。私を哀れんでくださり限りない慈しみを与えてくださって全ての家族を愛の中で見守ってくださった事を真に感謝します。変わりない主を愛し最善を尽くして福音を伝える使命を担えます。全ての事が神様の栄光になるように、主が喜ばれる者となり、キリストが尊くなる事を切に願い祈ります。ハレルヤ！全ての栄光を神様に捧げます。

[信仰コラム]

預言の言葉とその権能

″預言を軽んじてはならない。″、(テサロニケの信徒への手紙一　5:20)

″預言を軽んじてはならない″という言葉は″神様の言葉を軽んじてはならない″という言葉と思います。神様が啓示された預言の言葉には神の権威と権能が内在しています。誰が預言を軽んずるとしており、その権威と権能が消滅されるか、無力になりません。かえって預言を軽んずる者が災いを招くことになります。預言の言葉に内在された権威と権能が何かを知っている知識がいなければなりません。このような知識は人間の霊と肉とすべての生活に多大な影響を及ぼすことにします。
第一に、神様の言葉は創造する能力があります。神様の創造はないことからあるようにしたのです。神様がお言葉に天地万物をつくりました。(創世記 1:1~4)
第二に、神様の言葉は万物を保存する能力があります。神様のお言葉の能力が地球を動かして太陽系を動かして多くの星を秩序整然と動いて保存します。ヘブライ書 1 枚 3 節に″彼の能力のことばで万物を支えながら″しました。第三に、神様の言葉は罪を悟り、悔いて行う能力があります。人の心を感動感化させます。ヘブライ書 4 枚 12 節に″神様の言葉は暮らしていたし、運動力があり、左右に鋭いどんな剣よりも鋭利魂と霊とと関節と骨髄を刺して割れまでし、また、心の考えと意味を監察するのは、″しました。第四に、神様の言葉はして生まれ変わらせる能力があります。人は、いくら修行をしても、慈善救済をたくさんしても、教育をたくさん受けても、神様の子供がなりません。水と聖霊として生まれ変わるべきです。(ヨハネによる福音書 3:5)水は神様の言葉を意味します。
第五に、神様の言葉は、信頼を生産する能力があります。記録されたお話を聞いて読む時の信頼ができことになります。ローマ書 10 枚 17 節に″信頼は聞くことで出て聞くことは、キリストの言葉による″しました。第 6 の神様の言葉は賢くする能力があります。試験片 119 本に″わたしはすべての全きことに／限りあることを見ました。しかしあなたの戒めは限りなく広いのです。いかにわたしはあなたのおきてを／愛することでしょう。わたしはひねもすこれを深く思います。 あなたの戒めは常にわたしと共にあるので、わたしをわが敵にまさって賢くします。
わたしはあなたのあかしを深く思うので、わがすべての師にまさって知恵があります″(詩篇 119:97~100)しました。7 番目、神様の言葉は病気を直しながら危険から救う能力があります。(詩篇 107:20)百卒長が中風病気を患っている男を向けて神様に求めるのを″神様、ただ、おっしゃってください。それでは内の下人が治るはずです。″しました。するとイエスが彼の信念を大いに誉めて″行きなさい。君の期待どおりなるべし。″してその時刻に百卒長の下人がいやされました。(マタイによる福音書 8:5~13)
八番目、神様の言葉は欠乏を豊かさに変化させる能力があります。神が、子どもが提供したパン 5 個と焼いた小さな魚 2 匹を手に持ち、天を仰いで見ながら祈りを捧げた後、離して弟子たちにあげて群衆の前に出すことにしてすべての人たちがお腹いっぱい食べました。(マルコによる福音書 6:34~42)。第九、神様の言葉は望みと平安と喜びを持たせる能力があります。聖書の教えを黙想して暗誦すると、懸念が消えて願い事と平安と喜びが陣取るようになります。(詩編 119:165)(エレミヤ書 15:16)10 番目、神様の言葉はサタンの試験を能く大敵して勝利して行う能力があります。神が見せてくれた悪魔に対敵する方法は神様の言葉を使用することです。(マタイによる福音書 4:1~11)
私たちが人間の論理に頼らず生き、運動力のある神様の言葉を武器にして悪魔を敵対しなければなりません。皆さんは神様が啓示した言葉、預言者と使徒たちを通じて予言された神様の言葉が記録された聖書を読み、上告することを大きな特権と考えて、神様の言葉による多様な能力を深く体験しながら暮らしていることを望みます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

以前と今と将来

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人は一生の間非常に多い変化を経験します．身体的な成長による変化，知的向上と精神的成熟による変化，結婚して家庭を成すとか住居の移動で多くの組職社会の構成員になって身分と地位の変化を経験するようになります．しかし人が経験することができる最大の変化はこれとは違う体験から来ます．それはイエスキリストを信じる前と信じた後の差です．その以前と以後は身分と地位だけではなく生の内容においておびただしい変化があります．
今日の聖書の本文に記録されるのを **“あなたがたは、選ばれた種族、祭司長の国、聖なる国民、神につける民でありあなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。”** と言いました．そしてまた記録されるのを “ただあなたがたは選ばれた種族であり王みたいな祭司長たちです 聖なる国です 神様の所有された民だから” しました．イエス様を救主で信じて迎接する人はその瞬間から以前の人ではないです．とても違う人になります．

第一は、‘あなたがたは“選ばれた種族”と言いました．

ここで言う ‘あなたがた’と言のはイエスキリストを信じる人々を示します．イエスキリストを信じる前には世の中に属した民でした．世の中に属した民は神様の震怒の下にあり終局には審判を受けて滅亡を受けるようになります．“前には民ではなかったのにこれからは神様の民です” しました．‘前’と ‘今’ の間に何の事があったんですか? イエスキリストを信じる事がありました．イエスキリストを信じればこのようにおびただしい身分の変化を着るようになります．世の中に属した民が神様に属した民になります．世の中に属した者が神様の民になったことは神様のあわれみを得たからです．“前にはあわれみを得ることができなかったのにこれからはあわれみを得た者だと” 言いました．神様のあわれみはイエスキリストにあって得るようになる恵みです．
‘あなたがたは 神様の所有された民’と言いました．神様に属した民は神様の所有された民です．神様の所有になったということは絶対安全を意味します．イエスキリストがおっしゃるのを **“わたしの父がわたしに下さったものは、すべてにまさるものである。そしてだれも父のみ手から、それを奪い取ることはできない。”（ヨハネによる福音書，10:29）** しました．神様の所有になったということは特別な価値が付加することを意味します．クリスチャンは天使が欽慕する存在です．神様の所有された民だからです．だから皆さんは劣等意識を持つとか自分を過小評価してはいけないです．神様の所有された民として特別な価値が付加したことを分かってそこに適当な態度に処身なさってください．

二番目は、‘あなたがたは王みたいな祭司長’と言いました．

先に，王の身分に対してよく見ます．

神様がアダムを創造した時こんなにおっしゃいました．**“神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。神は彼らを祝幸せして言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。”（創世記，1:27,28）**．神様が人を創造なさてすべてのものを治める地位をくださいました．王権をくださったのです．アダムが堕落することでこのような王権を喪失しました．呪いと死亡の支配を受けるようになりました．罪悪に縛られて悪魔の支配を受けるようになりました．
イエスキリストが福音の伝道の始めにナザレッ会堂で巻き紙の聖書を開いてこんなに記録された文を読みました．**“「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、主のめぐみの年を告げ知らせるのである」。”（ルカによる福音書，4:18,19）**．イエス様は人を罪と呪いでそして死亡と悪魔から自由を得るようにしようと世の中へいらっしゃったことを宣布したのです．イエス様は十字架のあがないの死と復活を通じて彼を信じる者に王の地位を得るようにしてくださいました．**ヨハネの黙示録には “夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらない。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。”（ヨハネの黙示録22:5）** しました．聖徒らはこの世の中に泊まるうちにも王らしく生きて行かなければなりません．王は治める権勢を持ってこれを行います。どんなものを治めなければなりませんか? 昔の人に属した性分を治めなければなりません．患難と試験を治めなければなりません．患難と試験を楽しがって喜ぶことで治めて忍耐することで治めてください．そんなにすれば患難が幸せになって苦難が光栄になるはずで試験が神様ともっと深い交わりをする道を開いておくようになるでしょう．悪魔を対敵して退けなければなりません．**ヤコブの手紙 4 章 7 節に “そういうわけだから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ちむかいなさい。そうすれば、彼はあなたがたから逃げ去るであろう。”** しました．皆さんが王らしく処身したら昔の人に属した性分と患難と試験と悪魔を治めながら生きて行くことができます．

次は，祭司長の身分に対してよく見ます．

エデンでアダムとエバは神様との親密で幸せな付き合いを楽しむことができました．しかし罪を犯すとエデンから追い出すことになりました．罪の中に住む人は神様と敵になった状態にあります．罪人は神様の前に進むことができないです．旧約時代は祭司長だけが聖所に入ることができるし，大祭司長たけは聖なる神様の光栄が臨んでいる至聖所に入ることができます．神様の宝座を象徴する至聖所には大祭司長外には入って行くことができなかったです．それも一年にただ一回 代贖の日に祭壇で取った贖いお供えの血を持って入って行かなければなりません．こんな法を破れば誰でも死をまぬかれることができないです．
ところでイエスキリストが十字架に釘付けられて死ぬ時に聖殿の中で驚きべきが発生しました．聖所と至聖所の間を阻んでいる揮帳が上から下まで破れました．イエス様の肉体が引き破かれてあがない使役が完遂されるによって人々が神様位に身近に進む道がぱっと開かれたのです．イエス様のあがないの恵みによってイエス様を信じる人は誰も神様と付き合って神様を仕えることができる道が開かれました．また私たちは祭司長の身分を持った者なので祭司長のように生きて行かなければなりません．祭司長は神様に申し上げて神様のお話を聞きます．聖徒が祈って聖書を読む事がここに当たります．祭司長は人々を神様位に導いて神様のみ旨を伝えました．聖徒が福音を伝える事がここに当たります．祭司長は神様に祭祀を差し上げる事をします．聖徒が神様に差し上げなければならない祭祀がいろいろあります．感謝の祭祀があります．賛美の祭祀があります．善を行うことと分けてやる祭祀があります．福音伝える仕事のために持っていることを差し上げる祭祀があります．身と心で献身しながら住む祭祀あります．イエス様は万王の王で私たちの大祭司長になります．私たちはイエスキリストにあって王みたいな祭司長になりました．だから私たちは王らしく，祭司長らしく処身しながら生きて行かなければなりません．

三番目は、‘あなたがたは聖なる国’と言いました．

聖なるという原語は ‘ハギオス’です．‘区別される，違う’という意味を持っています．イエスキリストを信じる人は聖なる者になったし聖なる国に住んでいます．世の中国とは違う区別された国に住んでいます．これは神様の権威の下に生きて行くことを意味します．聖なる国で住む人は生の方法が違います．先に彼の国と彼の義を求めながら生きて行きます．聖なる国で住む人は生の目標が違います．神様頃から褒め言葉と尊貴と光栄を得るために生きて行きます．

誰が皆さんに “イエス様を信じる以前とイエス様を信じた以後を比べると変わったのが何ですか?” と問えばこんなに答えてください．“私が前には神様の民ではなかったのにこれからは神様の民であり前にはあわれみを得ることができなかったのにこれからはあわれみを得た者になりました．私は神様の選ばれた種族であり，王みたいな祭司長であり，聖なる国です，彼の所有された民になりました．そして将来には復活した身で極めて美しくて燦爛たる新しいエルサレム城で神様と永遠に一緒に住むようになるでしょう．” そして変化された身分と地位に適当に処身しながら生きて行くように願いします．